

令和3年度事業活動実績報告

I. 公益事業報告

1. パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

(1) 調査・研究事業

(a) 調査研究、及びWEBサイト用資料の作成

JPDA ライブラリーサイト「情報の森」では、リサーチ&研究報告コーナーに、近年の調査研究活動を「パッケージデザインの価値はどうなるか研究会」として詳細レポートを掲載、また、情報の森ニュース欄への記事掲載を図った。さらに、JPI(日本包装技術協会)およびJDPA(日本デザイン保護協会)機関紙への寄稿、JMA(日本能率協会)展示会でのセミナーなど外部メディアを活用した情報発信も行った。

(b) 調査研究成果の発表

SDGs とパッケージデザインをテーマに、「ユニバーサルデザイン」、「ローカルデザイン」、「若者意識と購買行動」に関する3つの分科会をスタートさせ、それらを含む研究会をオンラインで開催した。著名な包装コンサルタントに基調講演を願い「パッケージデザイン〜ワクワクのその先へ〜」研究会を開催、各分科会の取り組み状況を発表し、ディスカッションを行った。これら成果はJPDAサイト「情報の森」に掲載予定。

(2) アーカイブ事業(来期からは事業とはせず、コンペティション事業の一環の活動とする)

日本パッケージデザイン大賞受賞者からのメッセージの記録として始めた「声のアーカイブ」は、第6回・第7回分を収録し、9月に協会ホームページに掲載した。また、8月に実施した第3回アーカイブセミナーについては、受賞作品の周辺を掘り下げることで、受賞作品を後世により伝えやすくする資料としている。

(3) 広報事業

JPDA MAGAZINE Vol.7 と Vol.8 を発刊した。Vol.7 についてはコロナ渦で協会のリアルイベントが減り、取材活動も制限される中、「地域いきいきパッケージ」と題し、全国の会員からの寄稿を編集して発刊、Vol.8 は創立60周年記念事業である「アジアパッケージデザイン会議」「パッケージデザインの学校」、「企画展」、「創作展」などのイベントの様子を豊富な話題とともに紹介した。

(4) インターネット事業

前年度より延期となったJPDA 創立60周年事業を中心に、各種事業の開催案内などをJPDAサイトに掲載、SNS や動画サイトも活用し情報発信を拡充した。会員作品紹介ページ「マイワークス」の運営、コロナ関連・給付金案内など行政からの周知情報など様々な情報を発信した。

また、セミナー・イベントの予約管理・オンライン決済の効率化を図るために外部サービス「STORES 予約」の運用を開始、アジアパッケージデザイン会議に関する情報発信をはじめPR効果向上を目的に「PR TIMES」を利用したニュースリリースを開始した。

2. パッケージデザインに関する表彰についての公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業及び、パッケージデザインに功績のあった人並びに団体の顕彰等

(1) コンペティション事業(日本パッケージデザイン大賞 AWARDS) (60周年記念事業) (来期から「日本パッケージデザイン大賞」と記載)

今期は、「日本パッケージデザイン大賞 2023」に向けた準備を中心に活動した。会員審査員選挙の実施、二次審査員の選任、応募要項の細部決定などの準備作業を行い、3月には大賞開催案内と作品募集のページを立ち上げた。

(2) JPDA パッケージデザイン功績賞

今期は、理事からの贈賞候補集計後に亡くなられた仲條正義氏にパッケージデザイン功績賞を贈ることとした。同氏の資生堂パーラーの商品群のパッケージデザインは 40 年を経ても変わらないインパクトや新鮮さがあり、業界に変革をもたらした功績を 2 名の外部特別アドバイザーとともに高く評価した。

(3) 学生プロジェクト(来期からは「日本パッケージデザイン学生賞」と記載)

来期に「第一回日本パッケージデザイン学生賞」の贈賞を実施するため、ミーティングを重ね、学生賞のロゴ作り、審査基準、審査委員選定、スポンサー探し、サイトオープン、日程決定などを精力的に進めた。来期の 4 月からサイトをオープンし、12 月にはオンライン授賞式を開催する予定。

3. パッケージデザインに関する展覧会事業

(a) 創作展「みらいパッケージ展」(60 周年記念事業)

9 月に創作展「みらいパッケージ展」をリアル開催した。コロナ感染の第 4 波と第 5 波の間であったものの 2 千名以上の来場者を迎え、好評裏に終了した。また、2016 年からはじめた 3 回の創作展をまとめた書籍「ひらめきパッケージ」を 60 周年記念事業として出版した。

(b) 企画展「日本のパッケージ 縄文と弥生のデザイン遺伝子 複雑とシンプル」(60 周年記念事業)

8 月 7 日から 10 月 3 日までの 50 日間、印刷博物館・P&P ギャラリーにて企画展を開催した。会期中に 3 回のトークショーも開催し、感染が完全に収束しない中で平日に 50-100 名と予想以上の来場者を迎えられた。

特に「縄文」と「弥生」という誰もが知っている古代の土器と、現代の日本のパッケージデザインの関連をとらえた企画の斬新さ・視点が高く評価された。展示方法もわかりやすく、パッケージデザインの魅力を多くの人に伝えることができた。

(c) 「日本パッケージデザイン大賞 2021」巡回展

6 月に大阪成蹊大学、10 月に富山デザインフェア、10 月から 12 月に凸版株式会社印刷博物館・P&P ギャラリーの 3 か所において、パッケージデザイン大賞 2021 の入賞作品の巡回展示会を開催した。

4. パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

(1) セミナー事業

(a) 東日本

パッケージデザイン業務の知見を広め、深めてもらう目的で、令和 3 年 3 月に日本トップクラスのカリグラファーを招き、ワークショップ・トークセッションを企画していたが、急遽ご本人の都合で中止せざるを得なくなった。令和 4 年度に延期して改めて実施する。

(b) 中日本

- ①愛知・岐阜地区…令和 4 年 3 月に「JPDA 中部パッケージデザイン展 2022」を国際デザインセンターで開催した。地元ライターの「金シャチパッケージはなぜ名古屋で愛される？」をテーマにしたトークとその後の展示会出展のクリエイターを加えたトークセッションも開催し好評を得た。
- ②北陸地区…「富山の〇〇を包む」というテーマで、10 月に富山市主催の富山デザインフェア 2021 に参加した。県内外のデザインを学ぶ学生を対象にパッケージデザインコンペティションを実施し 200 点以上の応募があった。期間中にパッケージデザインコンペティション作品展を開催した。

③北陸地区…10月に第8回トークカフェ in 富山を開催した。日本パッケージデザイン大賞2021で大賞を受賞したサントリーコミュニケーションズ株式会社から講師を招き、サントリーの考えるロングライフデザインについて豊富な事例を使って紹介いただき参加者の理解が深まった。

(c) 西日本

①勉強会 Vol.1 は、「今更聞けない！プラと紙のホントのホント」を9月にオンラインで開催した。専門家を招き、「脱プラスチック」が叫ばれる中、プラスチック・紙のメリット・デメリットを生かした共存が望まれるという結論を得た。初めての有料セミナーにもかかわらず、84名が参加し、事後アンケートで8割以上の満足度を獲得できた。

②勉強会 Vol.2 は、アジアパッケージデザイン会議(APD)が西日本(奈良)でオンライン開催されることになったことから、メンバーがAPDの支援にまわることとし、勉強会は中止した。

(2) デザイン保護事業(来期から「権利保護事業」と記載)

(a) WEBサイトによる情報発信

JPDAライブラリーサイト「デザインの権利と保護」コーナーでは意匠権、商標権、著作権について「デザイン保護レポート」として継続発信してきたが、その内容が一巡したこともあり一旦休止、次のステップに向けて企画の検討に専念したため、令和3年度の発信は5月の「ストックフォトを安心して活用するための実践講座」1回のみ。その他、デザイン保護事業(b)で実施の商標勉強会の開催案内を2回発信した。

(b) 知財セミナーの開催

今期は会員へのアンケート結果から、開催希望の多かった「商標権」をテーマに、「詳しく知りたい、商標のこと」と題した法律知識、調査方法、契約について専門家を招いての全3回からなる勉強会を実施した。参加者は各回、目標の15名に達し、少数ならではの活発な質疑のある勉強会となり、商標についての知見が深められた。

(3) 教育事業(来期から「育成事業」と記載)

(a) オンラインデザインセミナー

第1回は米国ロサンゼルス在住の大黒氏、第2回は米国ニューヨーク駐在の花原氏によるオンラインセミナーを開催した。現地からの生中継という新しい形式で、パッケージデザインのみならずアメリカでのデザイン全般の現状や、国外でデザイン作業を進める上でのカルチャーの違いなどを日本人の視点に立って語っていただいた。

(b) パッケージデザインの学校(60周年記念事業)

60周年記念事業の一環として、3年間の構想構築を経て、「最高のコンセプトとオリエンテーション」「デザインの知識と理解」「デザインの伝え方」の3分野で全16講座をオンラインで実施した。「最強の発注者になる」という発注サイドの新しい視点と、コロナ禍によりオンライン開催に変更し間口が広げられたこともあり、当初の3倍の500名弱の受講者を獲得し、好評裏に終了した。

5. パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

(1) 国内交流事業(来期から「全国会議事業」と記載)

コロナ禍だからこそその工夫で生まれたと言っても過言ではないオンライン交流会「みんなでつながるデザインの輪」は、7月に資生堂クリエイティブ、9月に一九堂印刷、12月にデザイン事務所アカオニを訪問してデザインの現場から印刷工場まで当事者がライブカメラを回して臨場感あふれる映像と、その場での質疑応答を実施した。デザイナーであっても普段は知りえないパッケージデザインの裏舞台を共有できた。

(2) 新年交流事業

(a) 東日本「新年デザイン交換会」

令和4年の新年交流会はオンラインにて開催した。第1部の講演会では浅草で80年続く寶研堂4代目の青柳貴史様より、硯をテーマに硯式や歴史の他、独自の美意識、使い手にとってあるべきプロダクトのあり方などを語ってもらった。第2部の新年会では理事長のあいさつから始まり、北海道から沖縄・ジャカルタまで全国の9名から地方色豊かなメッセージリレーが行われた。その後少人数グループに分かれて交流や情報交換を実施、時間制で次々とグループを変わって多くの方々と交流することができ、大いに盛り上がった。

(b) 西日本勉強会 Vol.3+新年デザイン交流会

万博記念公園にある「太陽の塔」の内部公開が始まったことから、神秘的かつ躍動感に満ちた岡本太郎氏の創作エネルギーを全身で感じもらうリアル体感イベントを実施した。コロナ感染予防もあり定員を25名としたが、満員となり参加者からは好評を博した。

(3) 国際交流事業

(a) アジアパッケージデザイン会議 (APD NARA 2021) (60周年記念事業)

コロナ禍でオンライン開催に変更したものの、2019年のアジアデザイン団体代表者会議から2年間をかけてアジア5地域共同によるパッケージデザインの国際会議を開催できた。11月18日のAPD NARAのオンライン会議には200名/社の参加があり、京都精華大学のウスビ・サコ学長、JAGDA 佐藤卓会長の基調講演、APD パッケージデザイングランプリ、金賞など入賞作品9点を発表した。最後に、参加5地域のデザイン団体からアジアのパッケージデザインの発展に向けて共同宣言を発表して好評裏に閉幕した。次回は2023年度以降に韓国にて開催予定。

(b) 海外デザイン視察準備

コロナの終息が見えずスケジュールが設定できない中、アジアパッケージデザイン会議にパワーを集中した結果、今期は主だった活動はしなかった。

(4) 東日本大震災復興支援事業

東北地方復興支援の一環として、今期も引き続き、経済産業省東北産業局主催の「おいしい東北パッケージデザイン展」の展覧会、フォーラムを後援したのに加えて、オンラインで審査員の協力をした。

6. パッケージデザインに関する出版事業

(1) 「年鑑 日本のパッケージデザイン」の発刊

企画・編集を進めてきた日本パッケージデザイン大賞2021の入賞・入選作品404点を掲載した「年鑑 日本のパッケージデザイン2021」を5月に発刊した。今回はコロナ禍の中で、JPDAとしてはじめて審査をすべてオンラインで行った。年鑑では、オンライン審査に至る経緯や実際の審査ドキュメンタリーを客観的視点で掲載し、どのような議論があり、どのような評価を得た受賞なのかを読者にわかりやすくまとめている。

(2) 「パッケージデザイン・インデックス」の企画制作

隔年刊行のパッケージデザイン作品集として、2022年5月発売を目指して企画制作を進め、作品の募集からデザイン、入稿までを行った。また、ブックデザインはADに鈴木奈々瀬氏を迎え、イメージの刷新を行った。第一線で活躍するデザイナー、デザインスタジオ、企業のパッケージデザイン部門の仕事と、パッケージ制作を支える印刷技術や素材紹介をする、パッケージデザイン開発・ブランディング戦略に役立つ実用性の高いインデックスとして出版予定。

(3) 「新企画本」2種の企画制作(60周年記念事業)

(a) 「60周年企画展の作品集」

出版社との交渉が進まず、当初予定した書籍化ではなく、企画展のパンフレットとした。

(b) 「60周年記念企画本」

書籍「ステキなパッケージ」を企画し、会員からも情報収集などを進めていたが、本企画に合致する出版社が見つからず、今期の出版は断念した。

II. 収益事業報告

収益事業

アジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトの受託事業

平成 27 年 6 月、(独)国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生パッケージデザイン交流プロジェクトを受託することで変更認定を受けたが、令和 2 年度になり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、アスパックの全ての事業が中止となり、令和 3 年 3 月をもって主催者であり事業の受託元であるアスパック協会も解散となったことから、当協会の収益事業も中止となっている。昨期に続き、これに代わる新たな収益事業の探索・検討をしたが、具体化まではできていない。

III. 官庁主催会議及び外部団体との会議並びに事業協力

1. 内閣府

- ・ 令和 2・3 年度役員改選に伴う内閣府報告に度重なる不備があったことから、令和 3 年 4 月 22 日に JPDA 伊藤理事長以下が内閣府公益認定等委員会事務局に行き、佐藤審査監督調査官、逆井政策企画調査官と打合せをもった。
- ・ 5 月 31 日に、一連の事実確認、問題発生の原因、今後の改善アクション、関係者の処分などについて内閣府公益認定等委員会に報告書を提出した。
- ・ 8 月 31 日に臨時総会を開催し、伊藤理事長から社員に顛末を説明するとともに、役員辞任に伴う新任役員を選出、その後に向けた定款の変更の承認をいただいた。
- ・ 10 月 12 日に、内閣府公益認定等委員会から立入検査を受け、大きく改善方向にある旨を確認できたとの評価をいただいた。

2. 経済産業省・厚生労働省

令和 3 年 8 月 「2022 年度卒業・修了予定者等の就職・採用活動」等に関するアンケート協力

令和 3 年 8 月 「感染症拡大によるデザイン業界への影響について」に関するアンケート協力

令和 4 年 1 月 「感染症拡大によるデザイン業界への影響について(第 2 回)」に関するアンケート協力

3. 日本デザイン団体協議会(D-8)

(1) D-8 代表者会議

令和 3 年 7 月 27 日 (オンライン 伊藤理事長・井上副理事長)

令和 3 年 9 月 7 日 (オンライン 伊藤理事長・井上副理事長)

令和 3 年 10 月 18 日 (オンライン 伊藤理事長・井上副理事長)

令和 3 年 12 月 6 日 (オンライン 井上副理事長)

令和 4 年 2 月 18 日 (オンライン 伊藤理事長・井上副理事長)

(2) ジャパンデザイナーズ広報特別委員会

令和 3 年 4 月 28 日 (オンライン 中越委員、佐野委員)

令和 3 年 5 月 27 日 (オンライン 中越委員)

令和 3 年 11 月 11 日 (オンライン 中越委員、佐野委員)

(3) ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会(JDM 委員会)

令和 3 年 4 月 21 日 (オンライン 柴野委員)

令和 3 年 5 月 17 日 (オンライン 柴野委員)

令和3年7月14日 (オンライン 柴野委員)
令和3年8月18日 (オンライン 柴野委員)
令和3年9月15日 (オンライン 柴野委員)
令和3年10月20日 (オンライン 柴野委員)
令和3年11月17日 (オンライン 柴野委員)
令和3年12月27日 (オンライン 柴野委員)
令和4年1月19日 (オンライン 柴野委員)
令和4年2月16日 (オンライン 柴野委員)
令和4年3月16日 (オンライン 柴野委員)

4. 外部団体への事業協力

(1) 公益社団法人日本包装技術協会

令和3年5月14日「2021 日本パッケージングコンテスト」審査会に伊藤理事長、加藤専務理事が出席し審査協力

(2) 東北経済産業局

令和3年8月30日「おいしい東北パッケージデザイン展」審査委員会に加藤専務理事が出席(オンライン)

令和3年11月29日「おいしい東北パッケージデザイン展」オンライン表彰式に加藤専務理事が出席

(3) 凸版印刷(株) 印刷博物館

令和3年11月14日 P&P ギャラリーで開催された「日本パッケージデザイン大賞 2021 現在・これから」のトークショーにモデレーターとして山崎理事が参加、大賞・金賞受賞者とトークショーを行った。

(4) (一社) 日本印刷産業連合会

令和4年2月2日 ジャパンパッケージングコンペティション審査会 伊藤理事長(山崎理事が代理出席)

IV. 名義関連

(1) 後援名義

- ・ 「2022 日本パッケージングコンテスト」(主催:(公社)日本包装技術協会)
- ・ 「World Interiors Week 2021 in JAPAN」(主催:(公社)日本インテリアデザイナー協会)
- ・ 「第15回メディア・ユニバーサルコンペティション」(主催:全日本印刷工業組合連合会)
- ・ 「次世代を担うデザイン展 2021」(主催:(公社)日本インテリアデザイナー協会)
- ・ 「インテリアライフスタイル 2021」(主催:(一社)日本家具産業振興会)
- ・ 「おいしい東北パッケージデザイン展 2021」(主催:東北経済産業局)
- ・ 「第61回 2021 ジャパンパッケージングコンペティション」(主催:(一社)日本印刷産業連合会)
- ・ 「第32回公募 2020 日本ジュエリー展」(主催:(公社)日本ジュエリーデザイナー協会)

(2) 協賛名義

- ・ 「第4回パッケージ×デザイン展」(主催:(一社)日本日本能率協会)
- ・ 「第32回 西日本食品産業創造展'22」(主催:日刊工業新聞社)
- ・ 「PAGE 2022」(主催:(公社)日本印刷技術協会)
- ・ 「JAPAN PACK 2022 日本包装産業展」(主催:(一社)日本包装機械工業会)
- ・ 「第93回東京国際・ギフトショー春 2022」(株式会社ビジネスガイド社)
- ・ 「第11回 LIFE×DESIGN」株式会社ビジネスガイド社)

(3) 共催名義

- ・ 「現代日本のパッケージ展 2021」(主催:凸版印刷(株)印刷博物館)
- ・ 「富山デザインフェア 2021」(主催:富山市、運営:富山デザインフェア実行委員会)

(4) 協力名義

- ・ 「ライティング・オブジェ 2021」(主催＝ライティング・オブジェ制作委員会)

V. 会議開催状況

- | | | | | |
|--------------|---------|--------|-----------|-----|
| (1) 総会(第40回) | 令和3年5月 | 東京都文京区 | 東京ガーデンパレス | 会議室 |
| (2) 臨時総会 | 令和3年8月 | 東京都文京区 | 東京ガーデンパレス | 会議室 |
| (3) 定例理事会 | 令和3年5月 | オンライン | | |
| | 令和3年7月 | オンライン | | |
| | 令和3年9月 | オンライン | | |
| | 令和3年11月 | オンライン | | |
| | 令和4年2月 | オンライン | | |
| (4) 臨時理事会 | 令和4年3月 | オンライン | | |
| | 令和3年4月 | オンライン | | |
| (5) 会員入会審査 | 令和3年6月 | オンライン | | |
| | 令和3年5月 | オンライン | | |
| | 令和3年7月 | オンライン | | |
| | 令和3年9月 | オンライン | | |
| | 令和3年11月 | オンライン | | |
| (6) 各委員会 | 令和4年2月 | オンライン | | |
| | 令和4年3月 | オンライン | | |
- (6) 各委員会 令和3年度中 今期はほとんど全ての委員会がオンラインでの開催となった。

VI. 令和3年度会員異動状況

会員別	令和3年3月31日	令和3年4月1日～令和4年3月31日		令和4年3月31日
		入会	退会	
法人会員	231	9	9	231
個人会員	518	11	28	501
賛助会員	4	1	1	4
合計	753	21	38	736

VII. 報告事項

- (1) 令和3年7月6日 内閣総理大臣あて、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第129条第1項に規定する計算書類等、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第28条第1項第2号、及び法律第38条第1項第2号及び第3号の規定による令和3年度事業報告及び収支決算書に係わる書類の提出。(電子報告)
- (2) 令和3年9月27日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定による定款の変更、理事、監事、評議員又は会計監査人の氏名若しくは名称の変更。(電子報告)
- (3) 令和3年11月18日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第13条第1項の規定による公益目的事業又は収益事業等の内容の変更。(電子報告)
- (4) 令和4年3月29日 内閣総理大臣あて、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第22条第1項の規定による令和4年度事業計画書及び収支予算書の提出。(電子報告)

以上